

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	日本語 C
科目基礎情報						
科目番号	0221		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般科目		対象学年	4		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	東京外国語大学留学生日本語教育センター編「実力日本語（上）」（アルク）ほか適宜プリント配布。					
担当教員	田村 修一					
到達目標						
1 日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得する。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得したことが顕著に認められる。		日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得したことが認められる。		日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得したと認められない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (E)						
教育方法等						
概要	【授業目的】 中級レベルの日本語の下記記載の文法的内容を中心に学習する。CDを利用したリスニングも行い、「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」の4 方面から日本語の技能を高める。 【Course Objectives】 You will mainly the intermeditate level articles of Japanese grammar mentioned in the following. You will also have a listening training with CD and improve the four skills of Japanese language;listening,speaking,reading,and writing.					
授業の進め方・方法	【授業方法】 ・CDを用いて、「聞く」・「話す」訓練を行う。 ・講義は文法的解説を中心とする。 ・問題演習のプリントで、文法・読解・作文のトレーニングをする。 【学習方法】 ・復習を必ず行い、知識の定着をはかるとともに、日頃の生活の中でも日本語力の向上を心がけること。					
注意点	【定期試験の実施方法】 中間試験に代替する小テストと期末試験を実施する（筆記試験）。時間は50分。持ち込みは不可とする。 【成績の評価方法・評価基準】 上記の到達目標に基づき、各項目の理解についての到達度を評価の基準とする小テスト・定期試験による（100%）。 【履修上の注意】 辞書を持参すること。 【教員の連絡先】 研究室 B棟3階 (B-303) 内線電話 8905 e-mail: tamuraアットマークmaizuru-ct.ac.jp （アットマークは@に変えること。）					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	シラバス内容の説明、補助動詞「ている」（「今、雨が降っています」）		1	
		2週	動詞辞書形の過去形（「たぶん雨がふったでしょう」）		1	
		3週	動詞文「と」と言語引用内容（「私は『はい』と言いました」）		1	
		4週	「たり」動作作用列挙（「本を読んだり音楽を聴いたりします」）		1	
		5週	動詞文「～に～を」（「父はかばんに本を入れました」）		1	
		6週	「～する前に」・「～した後で」（「寝る前に、歯を磨きます」）		1	
		7週	疑問詞 理由・原因（「昨日は休みましたね。どうしてですか」）		1	
		8週	中間試験に代替する小テスト		1	
	2ndQ	9週	「で」手段・方法、「から」起因（「機械で計算します」）		1	
		10週	動詞「て」形 手段・方法、（「機械を使って計算します」）		1	
		11週	変化「～をナ形容詞形にする」（「王さんは部屋をきれいにしました」）		1	
		12週	「で」原因・理由（「風で窓が閉まりました」）		1	
		13週	文接続「～時」（「母は私が病気になった時、心配しました」）		1	

		14週	「ため」・「ために」（「論文を書くために、パソコンを買いました」）	1
		15週	可能表現（「王さんは英語ができます」）	1
		16週	（15週目の後に期末試験を実施） 期末試験返却・達成度確認	1

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0